

作成日 2024年 3月 25日

## 「情報公開文書」 (Web ページ掲載用)

受付番号 : 4981

課題名 : 「糖尿病網膜症の進行指標および増殖性変化における治療標的分子の解析」

### 1. 研究の対象

2024年5月1日から2029年3月31日に当院にて白内障手術を受けられる方、そして硝子体手術を受けられる増殖糖尿病網膜症、特発性黄斑上膜、内因性ぶどう膜炎の方

### 2. 研究期間

2024年5月(研究実施許可日)~2029年3月

### 3. 情報の利用を開始する予定日

利用開始予定日 : 2024年5月1日

### 4. 研究目的

これまで私たちは、増殖糖尿病網膜症(PDR)患者さんの硝子体液中では、IL-6、IL-10、IL-17A、IL-22、TNF $\alpha$ 、HMGB1、およびオステオポンチン(OPN)の濃度が黄斑上膜、黄斑円孔患者の硝子体液濃度よりも有意に高いことを認めました。また近年、血清中のOPN濃度が糖尿病網膜症(DR)の有無、重症度と相関することが報告されたことから、本研究では、血清および前房水中のOPN、HMGB1濃度と糖尿病罹病期間、HbA1c、中性脂肪、LDL-コレステロール、HDL-コレステロール、推算糸球体濾過量(eGFR)、収縮期血圧、拡張期血圧、糖尿病網膜症の進行度との相関、硝子体液中のIL-6、IL-10、IL-17A、IL-22、TNF $\alpha$ 、OPN、HMGB1、VEGF、MCP-1、IP-10との相関について検討することを目的としています。本研究成果により、DRの重症度を血清または前房水中のHMGB1またはOPN濃度で定量的に評価することが可能となれば、これらの分子に影響を与える眼内の炎症性サイトカインの同定、そのサイトカインを標的分子とした眼局所での生物製剤を用いたDR治療の開発に繋がることが期待されます。

### 5. 研究方法

本研究は、本校のみで実施する前向き観察研究です。術前全身検査の残余血清、白内障手術、硝子体手術の際に破棄される前房水および硝子体液を用い、それらに含まれるタンパクを解析します。対象患者さんに対しては通常の術前、術後の診療が施され、追加の検査、処置、治療などはございません。

研究期間は2024年5月1日から2029年3月31日までです。

### 6. 研究に用いる試料・情報の種類

術前全身検査の残余血清、白内障手術、硝子体手術の際に破棄される前房水および硝子体液の他、医療記録に記載されている年齢、性別、病歴、視力、眼圧、血液生化学データ、処方薬、外科的治療、副作用等の発生状況 等

#### 7. 外部への試料・情報の提供

該当なし

#### 8. 研究組織

研究責任者

眼科学講座 教授 竹内 大

研究分担者

眼科学講座 准教授 佐藤智人

#### 9. 研究費・利益相反（企業等との利害関係）について

本研究に使用する研究費は講座研究費です。本研究は研究責任者のグループにより公正に行われます。本研究の利害関係については、現在のところありません。今後生じた場合には、所属機関において利益相反の管理を受けたうえで研究を継続し、本研究の企業等との利害関係について公正性を保ちます。

この研究の結果により特許権等が生じた場合は、その帰属先は研究機関及び研究者等になります。あなたには帰属しません。

#### 10. お問い合わせ先

本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせください。

ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申出ください。

また、試料・情報が当該研究に用いられることについて患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象としませんので、下記の連絡先までお申出ください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。

当院における照会先および研究への利用を拒否する場合の連絡先：

担当者の所属・氏名：防衛医科大学校病院眼科 竹内 大

住所：〒359-8513 埼玉県所沢市並木 3-2

連絡先：04-2995-1511（内線 2333） 平日 9時から 17時まで

masatake@ndmc.ac.jp

当院の研究責任者：防衛医科大学校病院眼科 竹内 大